

西表島便り～仲間川のほとり大富より

大富公民館長 山城まゆみ

郷友の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。西表の山々ぬ映える樹々の白花は春先のシャリンバイから、うりずんのクチナシへ。そして梅雨の今、煙る緑にイジュの花が満開です。テッポウユリは終わり月桃も盛りを過ぎようとしています。バンシルーは実を結び、夜半の月明かりにゲッキツが香ります。朝夕に響く5月の口笛コッカー。フクギの花がほろほろこぼれる昼下がり。一期米は早くも穂を垂れています。故郷の季節をお届け出来たら……！

私は郷友の皆様とは逆方向で東京から西表島へ。仲間川河口の開拓集落大富にご縁をいただき19年目を迎えました。今年度、若輩ながら公民館長を務めさせていただきます。

副館長に金武正、事務会計に嘉本祥司が5月12日の公民館総会で決定いたしました。

皆様の生まれ島西表がいつまでも自然と人の情け豊かな島であるようにと願い、集落の皆さん、島の東西の皆さんとも力を合わせて参ります。

仲間川汽水域に広がるマングローブを眺めるとき、たくましく生き抜くヒルギたちは開拓者の姿に、また、厳しい自然と共に生きて来た島の先人達に重なります。母島を船出して新天地を拓かれた皆様も、大海を越え生き抜くヒルギの先輩方です。

15歳で巣立つ島の後輩の子ども達が、どこであろうと根を張り生きて行けるように、そのパオニア精神を身に着けてくれたらと願っております。

大都市圏に在りながら心を合わせ、43号目となる郷友会会報発行。故郷へのテント寄贈の募金活動、竹富町紹介など、皆様の故郷への篤いお心に深く感謝いたします。

島の私達からも折々の情報をお届けし、より交流を深めて行きたいと存じます。

今年62回目となる大富入植記念祭は8月23日（土）です。

郷友の皆様のご参加をお待ちしております。入植一世の皆さんは皆高齢となりました。

ぜひ懐かしいお顔をお見せください。

元気なおばあたちは「大富ねーねーず」を結成。入植祭デビューを目指しているようです。子ども達もいっぱい、今年は太鼓に挑戦するようです。私達の大富は西表の中でも若い集落ですが、一世の皆さんの想いを引き継ぎ「和衷協力」の伝統集落を目指して、二世、三世、新住民が心と力を合わせて参ります。

今後とも郷友の皆様のお力とお知恵を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京・西表島郷友会のご発展と皆様のご健勝ご繁栄をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。

